

二宮町立山西小学校
学校便り「ゆずり葉」
第 110 号
山西小学校 72-3777

卒業式

三月十八日(金)第四十五回卒業式が行われ、五十九名が卒業しました。

一人一人が、卒業証書を受け取るときにしっかりと顔を挙げていたことが印象的でした。その表情からは、「自分の力で前に進んでいきます」という気持ちが伝わってきました。

卒業生へ。①「お陰さまに気づける人になってください。」ここまで成長できたのは、お家の人だけではなく、たくさんの方との関わりがあったこと



です。毎日、交通安全の見守りをしてくださった方々、給食を作ってくくださった調理員さんや食材を育てた方々、お習い事で教えてくださいました方々、街中ですれ違っただ知らない人が、

実は自分が着ている服を作ったかもしれません。自分との関わりのある人を考えたらきりがありませんが、なかなか見えてこないのです。ですから「陰」なのかもしれません。お陰さまに気づいたときに、心の中から感謝の気持ちが湧いてきます。

② 正しい言葉、きれいな言葉を使ってください。どんなに短い言葉でも、一瞬で相手を傷つけること



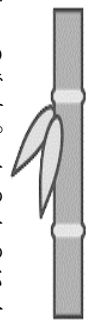
もあれば、明るくすることもできません。トラブルのほとんどは言葉によるものです。平和な社会で生きていくためには、正しい言葉を使ってください。

③ 学校を訪れた人たちが、授業の様子を観て褒めてくださいました。みんなが学習に参加し、教え合ったり学び合ったりしている姿に感心していました。私たち教職員も嬉しくなりました。相手の気持ちを理解し、お互いに支え合う心が育った卒業生に「ありがとう」です。

節目を大切に

竹には節目があります。節目があるから、細い竹

でもしっかりとしています。子どもの人生には、節目節目があります。それを大人たちが確認し祝ってあげたいものです。一つ一つが子どもの中に残り、節目となって成長していきます。



三年前に、国民がマスクをしている世の中を誰が想像したでしょうか。また、子ども一人一人がコンピュータを持って授業をしている姿が現実になると誰が思っていたでしょうか。他の国では争いが起こっています。環境問題も深刻化しています。このように、世の中は変化し続けています。その中で、たくましく、そして幸せに生きていく力を身に付けていくことを願っています。

学校紹介(神奈川新聞・SCN)

神奈川新聞に「わたしたちの学校シリーズ」で紹介されました。(二月十七日・木)
また、S2(湘南ケーブルネットワーク)002ch「湘南カフェ!湘南館ワイド」で四月五日(火)く、四月十一日(月)まで放送されます。ぜひご覧になってください。

今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。本当にありがとうございます。

※今回は、このページのみです